

## 第九回 参議院地方行政委員会会議録第十二号

昭和二十五年十二月七日(木曜日)午後九時二十分開会

○本日の会議に付した事件

○地方公共団体の議員及び長の選舉期日等の臨時特例に関する法律案(内閣送付)

○全国選舉管理委員会法の一部を改正する法律案(内閣提出、衆議院差付)

○本委員会の運営に関する件  
○専門員の選任に関する件

○委員長(岡本要祐君) これより地方行政委員会を開会いたします。

○吉川末次郎君 緊急という意味ではありませんが、一言この機会に岡野國

務大臣がお見えになつておりますので、現在時事問題になつておりますところの地方自治に関する一つの問題につきまして、特に発言いたしまして御見解を承わりたいと思うのであります。それは新聞紙上でも問題になつておることであります。地方自治法において、先に選舉されましたところの地方自治体の長及び地方自治体の議会の議員の任期というものが、大体においてその四ヶ年が来春の三月、四月に満了するようになつているところの人々が非常に多いと思われるのですが、ところがその来春の改選期を前にいたしまして、自己の任期を政治的に実質上延長せしめて、そのまま居坐つて行こうというところの政治的意図をもつて、策略的に特に首長でありましたところの知事或いは市町村長が、一般の選舉民に対して政治的に有

利なる何らかの好印象を与えて選舉を有利に展開せしめるような事柄を策略的に作りまして、そうしてわざと辞表を提出いたしまして、選舉を新らしく施行することとして、そうして自分はその機に乗じて再立候補いたしまして、当選を期そうとするようなことが昨今頗々と行われております。すでに選舉が開始されておると聞いておるのであります。岐阜県の知事でありますところの武藤義謂君であります。前衆議院議員であつたと思いますが、その人記事として出でるよなことは、大臣も御承知のことだらうと思うのであります。例え申しますならば、そ

れこの機会をなしまして例の一つといたしましては、青森県の知事の津島君であります。津島君は青森県の県税の収入として同県におけるところの「りんご」税収入というものが相当多額を占めておつた。ところが税制の改革によりまして、県税としての「りんご」税収入がなくなつたが故に、自分が今までの税収入がなくなつたが故に、自分は今後青森県政を持続して行く上において財政上非常な苦しみを受けるので、県民諸君の信を問うといふような意味で辞表を提出いたしまして、そうして新らしい選舉に打つて出て見事再選されております。地方の人々に聞きまするといふと、津島君は真意は決してそういうところにはなかつたのであって、いやがつておつたけれども、有志が無理矢理に再出馬せしめようとする者を出しましたのであるといふ。その点は主觀的なことであります。併しながらほづきはつきから、なかなかわかりませんが、少くとも客觀的な事実から判断いたします

ならば、先に私が申しましたよな意図を以て行われたものであると考えておるのであります。で、未だ極めて素朴に漠然としか考えおりませんが、只今のところではそれを禁止するまで私は考えがまとまつておません。同時にそういうことは一つ住民の良識に待ちまして、そういうような規定を設けて、これを禁じます。あくまでも御承知のことだらうと思うのであります。武藤義謂君でありますところの三、四ヶ月であるところの知事の任期途中におきまして辭表を提出いたしまして、開くところによりまするといふと、何ら大義名分の立つたところの理由がないということであります。やはり出馬いたしまして、現在の状態においては選舉情勢は武藤前知事に対して極めて有利に展開されておるということが伝えられておるのであります。同様に政治的に極めて卑劣なるところの意図を以ちまして、改選期直前数ヶ月前で、果民諸君の信を問うといふような行動を前にいたしまして、右についてどのようにお考えになつておるかといふことをよく承わりたいと思うのであります。

市町村長等の自治体の首長のそうした行動を前にいたしまして、右についてどのようにお考えになつておるかといふことをよく承りたいと思うのであります。併し只今のところで、そういうようなものの再出馬を禁止するとか、何とかいう法律を出すとか、出さぬとかいうことは、私はまだ結論を得るに至つていません。併し只今のところで、そういうふうに答弁いたします。

○吉川末次郎君 本日は非常に時間が迫つてゐることでありますから、一応やめて、そうして再出馬するといふような例が見受けられるのでございます。併しまあいろいろその本人の御意図を以ちまして、改選期直前数ヶ月前でありますするときにおいて、そうした辞表を出しまして、そうして居住民大衆の人気を博するようなこうした時勢を作りまして、そうして自己の実質的な任期延長を策略しておりますところの市町村長等が全国を通じて、相当右の人にならつて、そういう拳に出でる人があるといふことがあります。併し大いに悪意とされればならない。又就任する権利があれば同時に義務もあるわけですから、やはり自分の体が動かないとか何とかいう最も止むを得ないような事情がない限りは、やはり公人としての責任もあり、徳義でもあるわけですから、とにかく住民の負託を受けて満四年間就任しておらなければならない。

○安井謙君 只今の吉川さんの御質問に関連しておるのであります。今後選舉期日を延期するという趣旨がいろいろ地方行政の事務上の面から来ておりますが、そのことは現職の選舉が約一月伸び、その間約二ヶ月間のブランクがあるということになります。併しながら一世代の中のある方の不備がありましたが、これは公職選舉法によりまして、重視すべき一つの最近の現象ではないかと考えておるのであります。そういうことが許されるところの法の不備がありましたが、それは国会におきまして何とか直して

な寓意の下にやられるかたもないとは限りませんが、只今のところではそれ

うなことは考へられませんものかどうかという点についてお尋ねいたしました。

○國務大臣(岡野清謙君) お答え申上げます。その点につきましては、この選舉期日の変更をいたしまする法律案を出します事前にいろいろ考へたのでござりますけれども、選舉期日を変更するということは事務的、財政的、又予算を編成する時期で非常に工合が悪いとか、いろいろな事情で変更したほうがいいという結論に達しましたけれども、まる四年間という負託を受けておられる知事の、その事務的な理由において選舉期日を変えるから、その任期までも変えるということまでにその現職の知事を保護するという結論に到達しなかつたので、それで只今提案しておりますようなものになつたわけあります。

ます……別に御意見もありませんから、討論は終結したものと認めて差支えございませんか。

○委員長(岡本愛祐君) 御異議ないと認めます。

それではこれより採決に入ります。全国選舉管理委員会法の一部を改正する法律案について採決をいたします。右法案を原案通り可決することに賛成のかたの挙手を願います。

〔総員挙手〕

○委員長(岡本愛祐君) 全会一致と認められます。よつて本案は原案通り可決すべきものと決定いたしました。

なお本会議における委員長の口頭報告については、委員長よりあらかじめ結果を報告することとして、御承認を願うことに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長(岡本愛祐君) 御異議ないと認めます。

なお本院規則第七十二条により、委員長が議院に提出する報告書につき、多数意見者の署名を付することになりますから、本案を可とされたかたは順次御署名を願います。

○委員長(岡本愛祐君) それでは右法律案の本審査をいたします。質疑はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長(岡本愛祐君) 別に御発言もございませんから、質疑は尽きたものと認めて御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長(岡本愛祐君) 御異議ないものと認めます。

それではこれより討論に入ります。御意見のあるかたは、それすぐ賛否を明らかにしてお述べを願いたいと思い

日程につきましてお詫びをいたしました。明日は午前十時から成るべく時間通り連合委員会を開催いたしたいと存じます。先ほど連合委員会におきました。なほ連合委員会が済みまして、食事をいたしましてから、地方行政委員会としての地方公務員法案に対する質疑を続行いたしたいと思いま

す。御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長(岡本愛祐君) そういうふうに決定いたしました。

もう一つお詫びをいたします。連合委員会の途中で岩木委員から実は動議が出来ました。それは連合委員会において、会期を一日延長するよう委員会に諸れという動議であります。私はそれは連合委員会に諸るべき問題ではない。それはお詫びするとなれば地方行政委員会であるからといふので、お断わりをしたのであります。それからそれでは中絶をして地方行政委員会に相談をしてくれと申込みがありましたがから、それでは連合委員会が済んでからということになつておりますが、これにつきまして、皆さんの御意見を聞かせて頂きたいと思います。

○小笠原二三男君 こういうふうになつておるときには、いわばは私ども今日までこんなことで一向情勢がわかつておりませんでござりまするから、我々のほうも連合委員会の審査もあり、引続

いて又本審査もあることござりまするから、予算のほうと睨み合せて、明日の情勢によつてお取り組みを願うといふことが最も妥当であると存するのことを言わざるような結果に陥ることは、委員長の不手際であるとは言いませんが、全く以て困る次第であります。この点は各会派の意思の決定をしまして、本国会が召集になりました

場合に、九日一杯まで会期を持つことが至当であるということを慎重検討

の結果結論を出しておつたにもかかわらず、政府与党である自由党的ほうにおいて八日という御決定があつた。そこで十分行けるものであるという確信のほどを示されたので、あえて友好的にありますので、審査を終局したいと存じます。それで、その責任は一方的に、政府与党のほうにありますので、審査を終局したいと存じます。従いまして地方行政委員会に同調をしたという建前になつておるので、審査ができないといふようなことはございませんが、私たち党派は態度を決まりたいと思います。御了承願いま

す。これを本日新らしくきめるということは、それ自体の権威を失墜するだけではなく、義務感を喪失したものの言うことをいつて、私は本委員会はそんなこ

とであつて、私は本委員会はそんなことをこれまでのこの動議に対し定しておりますので、この動議に対してお考えになる点においては一向差支えありませんが、私たち党派は態度を決めて意見を申上げることは、あえて自由党のために差控えます。

○堀末治君 会期の問題について小笠原君から、与党が一方的に……、ちょっとお叱りをこうむつた上で非常に恐縮いたしますけれども、これは参議院の自由党がやつたのではなく、衆議院がきめられたのであります。それ

に参議院が法制上同調した。かようなことになつておるのであります。つきましてはまだ予算のほうの関係もございませんでござりまするから、我々のほうも連合委員会の審査もあり、引続

いて又本審査もあることござりまするから、予算のほうと睨み合せて、明日の情勢によつてお取り組みを願うといふことが最も妥当であると存するのことを言わざるような結果に陥ることは、委員長の不手際であるとは言

いませんが、今日はまあ会期の延長のことは決定しない、今日はそんなことを言わぬで行くという程度にしておいたほうがいいのじやないか。(了解々々)

○委員長(岡本愛祐君) 速記を始め

〔速記中止〕

て……。

○相馬助治君 私は八日ときめたのですから、八日の中でも十二時までかかる、誠心誠意を尽してこれをあげるというのが我々の責任であろうと思うのです。従いまして地方行政委員会

は、それ自体の権威を失墜するだけではありませんが、それから地方行政委員会

がこれについて一日延ばせなどということを本日新らしくきめるということを今後議題に供する必要はない。そのためこそ理事もあり、それから委員長もあるのであります。本問題は自由党においてやはり主としてお考えから、そのためにこそ理事もあり、それから委員長もあるのであります。本問題はこの問題は保留して置く必要はない

こととあります。それで、私は本委員会はそんなことを今後議題に供する必要はない。そのためこそ理事もあり、それから委員長もあるのであります。本問題は

自由党においてやはり主としてお考えから、そのためにこそ理事もあり、それから委員長もあるのであります。本問題は

この問題は保留して置く必要はない

こととあります。それで、私は本委員会はそんなことを今後議題に供する必要はない。

○委員長(岡本愛祐君) 嘗さんの御意見によりまして、本件は取上げないのだと、取上げたのは間違いである。そういうふうに決定いたしました。取上げないといふことにいたしまして御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長(岡本愛祐君) それではそういうふうに決定いたします。

○委員長(岡本愛祐君) それから、もう一件お願いいいたしたいと思います。

それはこの前貴様に御承認をお願いいたしました一人欠員の専門員でござります。この前御承認を願いましたのですが、武井耕嗣君、これを委員長責任を持ちまして御推薦申上げたいと存じます。曲げて御承認を得たいと思います。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長(岡本愛祐君) 御異議ないものと認めます。それではさように決定いたしまして、手続を取り連ばして頂きます。

それでは本日はこの程度で散会いたします。

午後九時四十二分散会

出席者は左の通り

委員長

岡本 愛祐君

理事

堀 末治君

吉川 末次郎君

竹中 七郎君

委員

石村 幸作君

高橋 進太郎君

安井 謙君

小笠原 三三男君

相馬 助治君

国務大臣

國務大臣

岡野

鈴木

清豪君

西郷 吉之助君

直人君

石川 清一君

俊一君

哲君

鈴木

俊一君

昭和二十五年十一月二十日印刷

昭和二十五年十一月二十一日発行

參議院事務局

印刷者 印刷厅